



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月27日

上場会社名 キムラユニティー株式会社  
 コード番号 9368 URL <https://www.kimura-unity.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 昭二

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 小山 幸弘

TEL 052-962-7053

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	37,367	7.0	1,624	14.1	1,793	13.0	1,043	20.6
2020年3月期第3四半期	40,172	3.5	1,892	8.6	2,062	6.5	1,314	12.4

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,396百万円 (15.5%) 2020年3月期第3四半期 1,209百万円 (37.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	86.43	
2020年3月期第3四半期	108.89	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	52,921	29,677	53.4	2,341.90
2020年3月期	52,561	28,763	52.3	2,277.23

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 28,262百万円 2020年3月期 27,482百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		16.00		22.00	38.00
2021年3月期		19.00			
2021年3月期(予想)				19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	6.1	1,850	27.6	2,000	27.4	1,180	28.8	97.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	12,070,000 株	2020年3月期	12,070,000 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,749 株	2020年3月期	1,749 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	12,068,251 株	2020年3月期3Q	12,068,251 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期決算に表示される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載しております。なお、前連結会計年度及び前第3四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	8
3. その他 .....	8
継続企業の前提に関する重要事象等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、国内では新型コロナウイルス感染症の長期化の影響により、企業収益は大幅な減少が継続するとともに、雇用環境の悪化や設備投資の減少の動きがみられました。一方で、個人消費や企業の生産活動にも一部改善の兆しもありましたが、感染症第3波の影響等もあり、景気は厳しい状況で推移致しました。海外においても、欧米を中心に国内同様に景気減速が回復するに至らず、引き続き厳しい状況のなか、先行き不透明な状況が続いております。

また、当社グループと関係の深い自動車業界でも、国内外で加速しているCASE(コネクテッド・自動運転・シェアリング・電動化)への取り組み等の「100年に1度の大変革期」を迎える中、世界的な販売低迷等により、先行き不透明な状況となっております。

このような環境の中で当社グループにおきましては、第2四半期後半から回復が見られたものの新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、売上高は37,367百万円(前年同期比7.0%減収)となり、営業利益は1,624百万円(前年同期比14.1%減益)、経常利益は1,793百万円(前年同期比13.0%減益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,043百万円(前年同期比20.6%減益)となりました。

なお、主なセグメント別の売上高(セグメント間の内部売上を含む)、営業利益の状況は次の通りであります。

## ①物流サービス事業

売上高は、国内包装事業において関東地区の受注量の増加要因はあったものの、国内外共に新型コロナウイルス感染症の影響により、25,848百万円(前年同期比7.2%減収)、営業利益は包装事業において海外子会社天津木村進和物流有限公司、広州広汽木村進和倉庫有限公司での業績改善はありましたが、海外子会社KIMURA, INC.の収益悪化等により、2,113百万円(前年同期比8.7%減益)となりました。

## ②自動車サービス事業

売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響により、来店顧客の減少に伴う車両販売における国内子会社株式会社スーパージャンボの販売台数の減少等により、10,587百万円(前年同期比5.3%減収)となりました。営業利益は384百万円(前年同期比2.5%増益)となりました。

## ③情報サービス事業

売上高は、主要顧客からのシステム開発延期の要請等により、794百万円(前年同期比20.6%減収)となりました。営業利益は売上高の減収等により54百万円(前年同期比24.2%減益)となりました。

## ④人材サービス事業

売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う客先での要員調整、採用見直し等が発生する中、積極的な拡販活動や新規顧客の獲得に注力したこと等により、419百万円(前年同期比2.1%増収)となりました。営業利益は7百万円(前年同期比42.2%減益)となりました。

## ⑤その他サービス事業

売上高は、売電サービスにより、36百万円(前年同期比1.0%減収)となりました。営業利益は11百万円(前年同期比1.2%減益)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は52,921百万円となり、前連結会計年度末に比較して359百万円の増加となりました。その主な要因は、流動資産が現金及び預金の増加等により444百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は23,244百万円となり、前連結会計年度末に比較して553百万円の減少となりました。その主な要因は、流動負債が賞与引当金の減少等により1,403百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比較して913百万円増加の29,677百万円となりました。その結果、自己資本比率は前連結会計年度末比1.1ポイント上昇の53.4%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年10月16日に公表しました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,505	8,357
受取手形及び売掛金	8,353	7,145
リース投資資産	8,975	8,739
商品及び製品	566	462
仕掛品	27	398
原材料及び貯蔵品	366	133
その他	898	899
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	25,691	26,136
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,200	8,799
機械装置及び運搬具(純額)	501	481
賃貸資産(純額)	446	444
土地	6,805	6,799
建設仮勘定	207	8
その他(純額)	1,197	1,594
有形固定資産合計	18,359	18,126
無形固定資産		
のれん	62	50
その他	786	818
無形固定資産合計	848	868
投資その他の資産		
投資有価証券	4,002	4,534
繰延税金資産	841	647
その他	2,854	2,636
貸倒引当金	△37	△30
投資その他の資産合計	7,661	7,789
固定資産合計	26,869	26,784
資産合計	52,561	52,921

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,069	857
短期借入金	805	1,777
1年内返済予定の長期借入金	2,000	1,000
未払金	3,268	2,899
未払費用	2,499	2,889
リース債務	336	384
未払法人税等	607	700
賞与引当金	1,122	377
役員賞与引当金	50	15
その他	948	402
流動負債合計	12,706	11,303
固定負債		
長期借入金	2,000	3,000
長期末払金	5,916	5,677
リース債務	699	1,052
退職給付に係る負債	1,215	947
再評価に係る繰延税金負債	874	874
その他	385	388
固定負債合計	11,091	11,940
負債合計	23,797	23,244
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,580	3,580
資本剰余金	3,444	3,444
利益剰余金	20,217	20,772
自己株式	△1	△1
株主資本合計	27,240	27,795
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	961	1,224
土地再評価差額金	534	534
為替換算調整勘定	△30	△200
退職給付に係る調整累計額	△1,223	△1,091
その他の包括利益累計額合計	242	467
非支配株主持分	1,281	1,414
純資産合計	28,763	29,677
負債純資産合計	52,561	52,921

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	40,172	37,367
売上原価	33,093	30,591
売上総利益	7,079	6,775
販売費及び一般管理費	5,186	5,151
営業利益	1,892	1,624
営業外収益		
受取利息	24	28
受取配当金	61	61
持分法による投資利益	163	161
雇用調整助成金	-	41
その他	34	45
営業外収益合計	284	337
営業外費用		
支払利息	51	67
為替差損	59	80
その他	3	21
営業外費用合計	114	169
経常利益	2,062	1,793
特別利益		
固定資産売却益	2	1
特別利益合計	2	1
特別損失		
固定資産除売却損	54	10
契約解除損失	0	0
特別損失合計	54	10
税金等調整前四半期純利益	2,010	1,783
法人税、住民税及び事業税	780	592
法人税等調整額	△198	11
法人税等合計	582	604
四半期純利益	1,428	1,179
非支配株主に帰属する四半期純利益	114	136
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,314	1,043

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,428	1,179
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	163	262
為替換算調整勘定	△353	△64
退職給付に係る調整額	73	132
持分法適用会社に対する持分相当額	△102	△113
その他の包括利益合計	△218	216
四半期包括利益	1,209	1,396
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,184	1,263
非支配株主に係る四半期包括利益	24	132



(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、引き続き新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大による影響はあるものの、回復基調で推移しており、会計上の見積り（固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性）については、2020年3月末に実施した見積りから重要な変更は行っておりません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	物流サー ビス事業	自動車サー ビス事業	情報サー ビス事業	人材サー ビス事業	計				
売上高									
外部顧客へ の売上高	27,842	11,145	1,000	147	40,135	36	40,172	-	40,172
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	-	39	-	263	303	-	303	△303	-
計	27,842	11,185	1,000	410	40,438	36	40,475	△303	40,172
セグメント 利益	2,315	375	71	13	2,776	11	2,787	△895	1,892

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2. セグメント利益の調整額△895百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△897百万円が含まれております。その全社費用の主なものは、当社の人事、総務及び経理等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	物流サー ビス事業	自動車サー ビス事業	情報サー ビス事業	人材サー ビス事業	計				
売上高									
外部顧客へ の売上高	25,848	10,553	794	135	37,331	36	37,367	-	37,367
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	0	33	-	283	317	-	317	△317	-
計	25,848	10,587	794	419	37,648	36	37,685	△317	37,367
セグメント 利益	2,113	384	54	7	2,559	11	2,571	△946	1,624

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2. セグメント利益の調整額△946百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△949百万円が含まれております。その全社費用の主なものは、当社の人事、総務及び経理等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。